科目名	発想法							年度	2025
英語科目名	Way of Thinking							学期	前期
学科・学年	ＡＩシステム科　１年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	木村悠貴	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プランナー		

【科目の目的】

様々な課題解決の場面や、アイデアを考える場面において、より効果的な発想法を選択して実践することができる。また、発想法それぞれの留意点を理解しており、他者にもその使い方を説明し、チームで取り組むことを促進できるスキルを獲得する。

【科目の概要】

様々な発想法・思考法について、教科書等を使いながら学ぶとともに、身近な課題やAI・IoTをテーマとして発想を実践することで、各手法の使い方や留意点を身につけていく。個人作業も行うが、グループ作業を中心として進める。他者の意見を聴くこと、他者に自分の意見を伝えること、他者とのコラボレーションによりアイデアを生み出すことを繰り返し、習慣化する。

【到達目標】

以下の事項を通して、多様な意見を聴いて受け入れる寛容さとイノベーションの原石を生み出すような大胆かつ柔軟な姿勢を身につけることを目指す。
・ブレーンストーミングでの意見交換を行い、アイデアを出す。
・全ての課題を提出する。

【授業の注意点】

本科目は実習形式をとるため、授業出席、積極性が重要となることをよく理解して受講すること。また、成果物の完成に必要なスキルを有していない場合は、能動的に学習することも必要となる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A アイデア発想	アイデア発想手法を完璧に理解し、効果的に実践できる	アイデア発想手法を効果的に実践できるが、時折ミスがある	アイデア発想手法を部分的に実践できるが、一貫性がない	アイデア発想手法のステップを知っているが、実践できない	アイデア発想手法の基本的なステップを理解していない
到達目標 B 思考方法の習得	思考方法を完璧に理解し、効果的に実践できる	思考方法を効果的に実践できるが、時折ミスがある	思考方法を部分的に実践できるが、深い理解がない	各思考法の基本的なコンセプトを知っているが、実践できない	各思考法の基本的なコンセプトを理解していない
到達目標 C ビジネスにおける思考法の習得	ビジネスの思考方法を完璧に理解し、効果的に実践できる	ビジネスの思考方法を効果的に実践できるが、時折ミスがある	ビジネスの思考方法を部分的に実践できるが、一貫性がない	ビジネス特有の思考方法のコンセプトを知っているが、実践できない	ビジネス特有の思考方法の基本的なコンセプトを理解していない
到達目標 D 分析手法の適用	分析手法を完璧に理解し、効果的に実践できる	分析手法を効果的に実践できるが、時折ミスがある	分析手法を部分的に実践できるが、一貫性がない	分析手法の原理や概念を知っているが、実践できない	分析手法の基本的な原理や概念を理解していない
到達目標 E 課題解決のためのアイデアの発表	授業で学んだ技術や知識をフル活用して、高品質な成果物を作成できる	授業で学んだ技術や知識をほぼ完璧に活用して成果物を作成できる	授業で学んだ技術や知識を活用して成果物を部分的に作成できる	学んだ技術や知識をある程度活用できるが、成果物を完成できない	授業で学んだ技術や知識を活用して成果物を作成する能力がない

【教科書】

日本工学院専門学校ITカレッジ作成資料

【参考資料】

無し

【成績の評価方法・評価基準】

以下の事項を総合的に評価する。
・課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	発想法	年度	2025
英語表記	Way of Thinking	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アイデア発想（1）	・個人やチームでアイデアを発想 ・アイデア発想手法（ブレーンストーミング、弁証法）を実践	1	他者の意見の尊重	・他者の意見を尊重する ・批判を避ける	2	
2	アイデア発想（2）		2	発想手法の実践	・ブレーンストーミングや弁証法などの手法を実際に体験する ・それぞれの手法がもたらす利点や適用シーンを理解する ・これらの手法を適切に使い分けられる	2	
3	アイデア発想（3）						
4	アイデア発想（4）		3	フィードバック	参加者同士でフィードバックを交換し、どのアイデアが有効であったのか、どの手法が最も効果的であったのかを共有する	2	
5	思考方法（1）	・思考方法（ロジカルシンキング、クリティカルシンキング）を実践	1	基本的な思考法の理解	ロジカルシンキングとクリティカルシンキングの定義や特徴を明確に理解する	2	
6	思考方法（2）		2	実際の問題を使った練習	実問題に対して、ロジカルシンキングやクリティカルシンキングを適用する	2	
			3	アウトプットとフィードバック	自らの思考をアウトプットするとともに、他者からのフィードバックを受け取る	2	
7	ビジネスにおける思考法（1）	・思考方法（デザイン思考、逆算思考、Why思考）を実践	1	各思考法の特徴と適用シーンの理解	各思考の特徴や強みを理解する	2	
8	ビジネスにおける思考法（2）		2	実際のビジネスケースを利用した実践練習	実際のビジネスシチュエーションを想定したケーススタディやシミュレーションを通じて各思考法を適用する	2	
9	ビジネスにおける思考法（3）						
10	ビジネスにおける思考法（4）		3	思考のプロセスと結果の共有とフィードバック	グループワークやディスカッションを通じて、学生たちが自らの思考プロセスや結果を他者と共有する	2	
11	分析手法（1）	・分析方法（相関分析、時系列分析）を実践	1	基礎知識と理論の理解	各分析手法の基本的な原理や概念をしっかりと理解する	2	
12	分析手法（2）		2	実データを用いた分析の実践	実際のデータセットを用いる実習を通じて、解析ツールの操作を習得する	2	
			3	分析結果の報告	分析結果の可視化、主要な洞察の抽出を行う	2	
13	課題解決のためのアイデアの立案と発表（1）	・授業で学んだことを活用して、成果物にする	1	統合的な思考法の習得	それぞれの思考方法や分析手法を実際の課題や状況に応じて適切に組み合わせて使用する	2	
14	課題解決のためのアイデアの立案と発表（2）		2	チームワークとコミュニケーション	効果的なチームワークの方法やコミュニケーションスキルを習得する	2	
15	課題解決のためのアイデアの立案と発表（3）		3	実践を通じたフィードバック	自らのアイデアや解決策を発表し、他者からの意見や評価を受け取り、改善や再考を行う能力を習得する	2	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等